

# 大阪府消防広域化推進審議会 第1回審議会での委員個別意見への考え

資料1

項目	第1回での意見要旨	事務局の考え方
1 広域化への取組	<p>小規模消防本部は、課題が多いことを配慮(高度な技術の恩恵が得られない等々)大規模消防本部は心を大きくして擁護していただきたい。</p> <p>広域化が可能なところから進める検証が大切(ステップを踏む)</p> <p>広域化が進んでいないというが、泉南での一部事務組合や南河内での富田林市への委託とまとまっている。泉北も動きがある。これらをあたたかく育てていくことが大事</p> <p>近隣効果を狙いモデルケース的取組で広域化を進める(過去の広域化は、少数人口、財政難の自治体が積極的な傾向。自治体間の横並び傾向)</p> <p>救急の連携は成果があるが、広域化が上手くいっていない理由はなぜか</p>	<p>現在、財政支援を優先的に採択される消防広域化重点地域制度に基づいて、広域化の意欲の高い市町村に対応しています。</p> <p>【国広域化説明資料(消防広域化基本指針三-2-(1)、三-3-(2))】</p>
2 財政支援	<p>市町村財政が厳しいのは事実だが、消防に苦勞させたくないのは、首長共通の思いがあり、広域化の議論が必要。</p> <p>広域化のインセンティブは何か</p> <p>広域化による規模の経済性</p> <p>重点地域指定がインセンティブとして効果があるか検証する必要がある。(財政力弱い小規模本部でギリギリまで頑張るのはよくない。)</p>	<p>現在、国の財政的な支援が重点地域に優先して定められている。また、広域化に伴い指令台が集約されることによる財政効果についても検討しております。</p> <p>【国広域化説明資料(消防広域化基本指針 一-4-(5)-1) 前回説明資料3-2(勉強会とりまとめ資料P14~16)】</p>
3 水平連携(指令C)	<p>広域化により通信指令の整備節減や研究、研修の充実によるスキルアップ</p> <p>水平連携や指令センターの共同化はすすめていきたい。</p>	<p>指令センターの共同化を始めとする各種水平連携については、各消防本部と調整しているところです。</p> <p>【前回会議資料3-2(勉強会取りまとめ資料P14~16、P38から40)】</p>
4 医療との連携	<p>救急は、医療のニーズと併せる必要がある。</p> <p>広域化が望ましいことのひとつとして、社会情勢、高度医療行為の必要性を考慮した救急隊員の再教育、研修等実施する時間の確保がし易い。</p> <p>医療サイドでは患者の受入状況を検証する会議体を2次医療圏単位で実施しているが、組合消防管轄といえど医療圏に食い違いが生じている。(消防救急と医療との関係が広域化により薄れるのは望ましくない)</p>	<p>広域化に当たり、二次医療圏やメディカルコントロールを始め、救急事業で医療サイドへの配慮は重要であると認識しており、前回計画でも含めております。</p> <p>【消防広域化推進計画(H23年6月改定版)P7~8、 前回資料3-2(勉強会取りまとめ資料P14~16)】</p>

# 大阪府消防広域化推進審議会 第1回審議会での委員個別意見への考え

資料1

項目	第1回での意見要旨	事務局の考え方
5 北部地震の検討	<p>非常時の体制の検討</p> <p>先日の市長会では、今回の北部での地震の被害が多かった市長よりもっと救急隊の応援があればとの発言があり、府域全体での広域的な応援体制を考えることが重要</p>	<p>現在、検証部会で検討を行って参ります。</p>
6 デメリット議論	<p>広域化のデメリットの検討</p> <p>広域化によりコミュニティ(住民・自治体・消防団との)が無くならないか不安。</p> <p>広域化により管轄内に知らない土地がある中での指令区域となる。</p> <p>災害時に火災が多発した場合、広域の周辺部が見捨てられる不安への対応(消防サービスの平等)</p>	<p>広域化に関する各種の課題については、勉強会等でも検討しております。</p> <p>【勉強会取りまとめ資料P25～27】</p>
7 地域性等への配慮	<p>大阪の北と南の地域文化の違いがネックとなっていると指摘されている。</p> <p>大阪では一部事務組合で成功した事例がある。(大阪流の広域化のやり方)</p> <p>平成の大合併では、府内で一つであり、地域での歴史をどのように融和させるかがポイント。</p> <p>広域化はスケールメリットがある。一方地域への密着性やきめ細やかさも大事。二律背反することをどう整理するか、</p>	<p>大阪の消防の歴史や地域性等に配慮して、ブロックを設定して参りました。</p> <p>【消防広域化推進計画(H23年6月改定版)P5～8、消防広域化基本指針三-2-(1)】</p>
8 現場への配慮	<p>消防隊が献身的に頑張っていることに対するスキルプライドは評価</p> <p>消防の実態や市民サービスへの熱い思いや誇りを含んだ議論をお願いしたい。</p>	<p>配慮事項として認識しております。</p>